



八代港港湾振興協会

Yatsushiro Port Promotion Association

当協会のシンボルマークは、平成16年2月に多数の公募作品の中から選ばれました。「輝かしい未来を目指す笑顔」と題し、人びとや八代海で生きる生きものたちの笑顔を表現しています。「錨」をデザイン化した笑顔、輪郭の「舵」は太陽のイメージを表現しています。

# みなと新聞

YATSUSHIRO

第16号

ホームページ <http://www.yport.jp/>

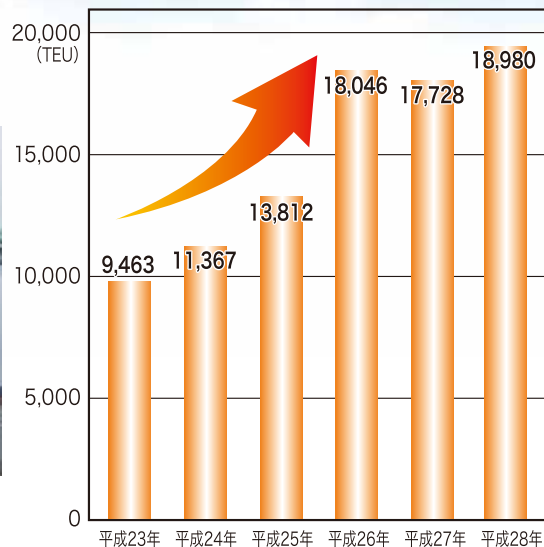
## 南九州のゲートウェイ 国際港湾 八代港!!

### 過去最高記録更新!

### 八代港コンテナ貨物取扱量について

平成11(1999)年のコンテナ貨物取扱い開始後、その取扱量は年々増加傾向にあります。近年では、国際コンテナ定期航路が週3便になったこともあり、平成27(2015)年には累計20万TEUを達成、平成28(2016)年は単年で18,980TEUとなり、過去最高記録を塗り替えました。

企業訪問や国内外でのセミナー開催などを通じて、八代港の利便性を広く知っていただき、海外新規航路の誘致や南九州の物流拠点化を目指し、今後も積極的にポートセールス活動に取り組んでまいります。



### 新コンテナターミナル、まもなく供用開始!



平成30(2018)年4月、新たなコンテナターミナルがスタートします。近年、急速に進んでいる船舶の大型化に対応するため、新たに大型ガントリークレーンが設置され、並行して施設規模と機能も飛躍的に充実することになります。さらに、民間企業による投資で、平成27(2015)年には、物流倉庫、冷凍・冷蔵倉庫に加え、危険物倉庫が完成しました。危険物倉庫を保有するのは、九州では北九州港と八代港の2港のみです。

このようなコンテナターミナルの能力向上や物流機能の充実に伴い、新たな定期航路の開設も期待されるところです。今後も官民一体となり、八代港の振興を目指してまいります。

岸壁：水深12m (30,000t級)  
面積：56,000㎡  
蔵置能力：1,448TEU  
リーファ電源：48口

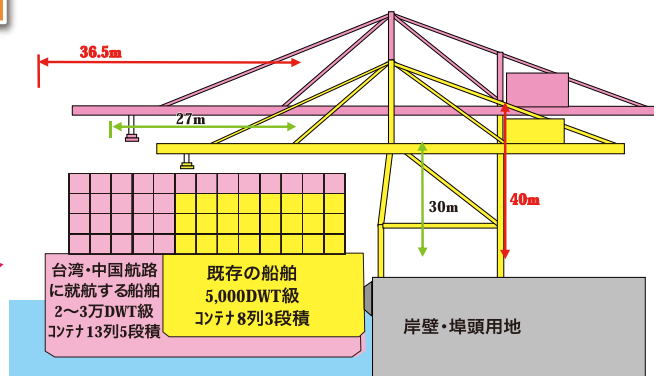
1.5倍!

2倍!

4倍!



#### 大型ガントリークレーンのイメージ



現在：1基8列3段⇒ **13列5段に!**



# 2016年の振り返り 平成28年4月～平成29年1月 Report

4月～5月

熊本地震 災害支援の一大拠点として  
～災害時にも物流を途絶えさせない、  
八代港の存在感～



平成28年4月に発生した一連の熊本地震では、八代市においても震度5弱、震度6弱を計測。陸路の大動脈である九州自動車道は一部不通となり、被災地に向かう支援車両や、被災地から出る避難車両で、一般道も大渋滞となりました。こうした陸路の代替ルートとして、八代港を経由させる臨時航路が速やかに開設され、八代港は、物流を途絶えさせることなく、その要としての役割を果たしました。



海上輸送は、渋滞にも巻き込まれず、大渋滞の陸路と比較して定時性も確保でき、かつ、一度に



※八代港で災害支援活動を行った船舶は以下のとおりです

所 属	海上保安庁	海上自衛隊	海上自衛隊	海上自衛隊	海上自衛隊	民間船舶
船 名	巡視船「おおすみ」	輸送艦「おおすみ」	輸送艦「しもきた」	護衛艦「いずも」	護衛艦「ひゅうが」	フェリー「はくおう」
停泊地	八代外港岸壁	八代外港岸壁	八代外港岸壁	八代外港岸壁	八代外港沖	八代外港岸壁
活動内容	岸壁で、被災者への給水、入浴、携帯電話の充電支援を実施。巡視船搭載のヘリコプターにて被災地に向け飲料水や乗組員の調理したおにぎりの輸送、被災地から負傷者の搬送を行ったほか、避難所での炊き出し等も行った。 活動期間：H28. 4月17日～4月28日 利用者数：568名	大規模輸送が可能な「おおすみ」「しもきた」（いずれも同型の大型輸送艦）は、約10万人分の食料、毛布、簡易トイレ等の救援物資を輸送した。先に八代港に到着して活動を行った「おおすみ」と入替わりで「しもきた」が八代港に入港、支援活動は途切れることなく、継続された。		海上自衛隊最大艦による初の災害派遣で、被災地で給水や給食、入浴等の多目的支援にあたる陸上自衛隊の部隊と車両の輸送を行った。	艦上で水や食料、簡易トイレ等の救援物資を積み込み、被災地へ空輸した。米海兵隊との連携でオスプレイによる物資輸送も行われ、「ひゅうが」は物資の集積拠点やヘリの運用拠点としての機能を果たした。	政府（防衛省）として初めて、民間フェリーを八代港に停泊させ、被災者に対し、1泊2日の宿泊、食事及び入浴のサービスを無償提供した。同時に、陸上自衛隊トラックなどの車両約80台を積み込み、物資輸送等も行った。 活動期間：H28. 4月26日～5月22日 利用者数：約2,560名



大量の荷物の輸送が可能です。災害発生直後は、トラックなども緊急物資の輸送に集中してしまうため確保が難しく、工場等では設備が復旧しても、原材料や製品の入出荷が滞ってしまえば生産活動を再開できません。今回のような災害時の緊急物資以外にも、日常

的な企業・経済活動を維持する非常に重要なインフラであることを改めて認識しました。

未曾有の大地震で混乱するなか、大型船が着岸できる八代港には、災害支援のための海上自衛隊や海上保安庁の大型船も続々と駆けつけ、八代港を拠点に、救援物資や支援にあたる部隊の大規模な輸送、負傷者の搬送、給水・食料支援、入浴提供など、さまざまな支援活動が展開されたこともまた強調すべき点です。

温かな支援のおかげで、余震の続く不安な日々にも、ひと時の安息を得られ心が癒された被災者は非常に多かったことと思います。これら大型艦船の入港は、八代港のスペックがあって実現できたこ

とです。熊本地震は、我々のライフラインとインフラを支える八代港の存在感・活用メリットを再認識するきっかけにもなりました。

5月18日(水)

八代港湾振興協会総会・交流会

本年度の通常総会では、4月の熊本地震を受け、耐震強化岸壁の整備を最優先要望事項として掲げ、八代港の利用促進・利便性向上・国内外との交流促進及び工業港と観光港の共存に向けた取組みを進めていくための陳情活動の継続、八代港ポートセールス事業、大型クルーズ客船寄港イベント、2016みなと八代フェスティバルへの協賛等を盛り込んだ事業計画が提案・承認されました。



7月～11月

八代港整備に向けた要望活動

当協会代表者並びに八代市長や地元経済界代表者等による要望活動を実施しました。

県選出国会議員や政府関係機関に対しては、【①耐震強化岸壁の早期整備、②水深14m航路の早期完成、③水深12m岸壁老朽化対策の早期完成、④水深10m岸壁のクルーズ船着岸に必要な受入環境の早期完成】の4項目、また、熊本県に対しては、【①耐震強化岸壁の早期整備、②水深14m航路の早期完成に向けた支援の継続、③大型ガントリークレーン及び新コンテナターミナル整備の早期完成、④大型クルーズ客船の寄港急増に対する受入れ施設の整備、⑤大島航路の安全確保対策の早期完了】の5項目について伝えました。





7月25日(月)

## 八代港・熊本港合同ポートセミナー

場所：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

出席者：209人

八代港の紹介：中村博生 八代市長

八代港利用企業による講演：日本カーリット(株)九州営業所  
菊池慎一氏

港湾のさらなる利用活性化と新規の荷主企業獲得や船社とのマッチング等を目的として、熊本市内にて八代港と熊本港合同でポートセミナーを開催し、熊本県、八代市、熊本市の各首長によるトップセールスを行いました。

また、八代港利用企業である、日本カーリット(株)九州営業所様からご講演頂くと共に、(株)インターリスク総研様より「地震、災害時における物流企業のBCP」をテーマに基調講演を頂きました。



## クルーズ客船寄港及び入出港状況

～海外船13回、国内船2回～



熊本地震の影響で、5月、6月に予定されていた2回のクルーズ客船の寄港が、八代港から他港への寄港地変更を余儀なくされましたが、平成28(2016)年7月7日、『がんばれ熊本!!』の横断幕を

掲げた、ロイヤル・カリビアン・クルーズ社の「クアンタム・オブ・ザ・シーズ」号の地震後初となる寄港を皮切りに、その後は順調に寄港回数を重ね、平成28(2016)年度の寄港及び入出港は最終的に過去最高の全15回となる予定です。

このうち、八代港に初寄港したプリンセス・クルーズ社の「ダイヤモンド・プリンセス」号からは、『熊本の復興を応援しています』というメッセージのほか、乗客・乗員による激励や応援のコメントを寄せ書きした横断幕が八代市に寄贈されました。また、船社側の好意により、地元の子どもたちを招待して、普段は見られない貴重な船内見学が実施され、子どもたちの心に残る印象的な一日となりました。



## 平成28年度クルーズ客船寄港及び入出港一覧

No.	日付	曜日	船名	総トン	入港岸壁
1	4月10日	日	マリナー・オブ・ザ・シーズ	138,279	水深12、14m岸壁
2	7月7日	木	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	168,666	水深12、14m岸壁
3	7月16日	土	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	168,666	水深12、14m岸壁
4	7月20日	水	オペイション・オブ・ザ・シーズ	167,800	水深12、14m岸壁
5	8月29日	月	オペイション・オブ・ザ・シーズ	167,800	水深12、14m岸壁
6	9月15日	木	ダイヤモンド・プリンセス	115,875	水深12、14m岸壁
7	9月17日	土	オペイション・オブ・ザ・シーズ	167,800	水深12、14m岸壁
8	9月29日	木	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	168,666	水深12、14m岸壁
9	10月3日	月	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	168,666	水深12、14m岸壁
10	10月8日	土	飛鳥II(入港)	50,142	水深10m岸壁
11	10月10日	月	飛鳥II(出港)	50,142	水深10m岸壁
12	1月1日	日	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	168,666	水深12、14m岸壁
13	1月15日	日	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	168,666	水深12、14m岸壁
14	2月6日	月	クアンタム・オブ・ザ・シーズ	168,666	水深12、14m岸壁
15	3月20日	月	クアンタム・オブ・ザ・シーズ(予定)	168,666	水深12、14m岸壁

平成29年1月13日(金)

## 八代港・熊本港合同ポートセミナーin上海

場所：上海国際機場賓館 (Shanghai Int'l Airport Hotel)

出席者：82人

八代港の紹介：中村博生 八代市長

八代港利用企業による講演：上海伊藤忠商事有限公司  
上海木材建材課 松本敦志氏

成長著しい中国・ASEAN諸国との取引促進に向け、特に中国上海との定期航路の新規開設・利用拡大を一大目標とし、八代市、熊本市の各首長によるトップセールスを実施。



日中双方の企業や、八代港・熊本港両港の利用企業、物流関連企業とのビジネスマッチングや情報交換の場にもなり、官民一体となった精力的なポートセールスが展開できました。今後は産業振興の拠点として一層の発展を目指します。

11月6日(日)

## 2016みなと八代フェスティバル



29回目を迎えた「みなと八代フェスティバル」、今回は「熊本地震復興祈願」を冠して開催しました。

当日は、海上自衛隊掃海艇「ひらしま」「たかしま」の一般公開を始め、海上保安庁巡視船「おおすみ」の体験航海と船内見学、さらに同庁航空機「うみつばめ」と「おおすみ」搭載ヘリコプター「るりかけす」のデモンストラレーション飛行、国土交通省の調査観測兼清掃船「海煌」の体験乗船、ヨットやモーターボートの体験クルージング等々、多彩な海上アトラクションが目白押しでした。

このほか、海上自衛隊佐世保音楽隊による圧巻の音楽演奏、子どもたちに人気のキャラクターショー、ゆるキャラ大集合とバラエティに富んだステージイベント、海事各官公庁による学べる展示ブースに、県南の美味しいグルメを楽しめる飲食・物産ブースも大盛況で、さわやかな秋晴れのなか、小さなお子様からご年配の方まで幅広い世代の14,000人の来場者で大変賑わいました。

10月27日(木)

## 「H28みなと清掃活動」清々しい汗を流しました(熊本県八代港管理事務所)

去る10月27日(木)、八代港管理事務所の呼びかけで、日頃から八代港外港地区港湾施設を利用している企業・団体の皆様と一緒に清掃活動を行いました。

雨天順延となった当日は薄曇りで作業し易い天気となり、安全できれいな港になるよう、野積場や道路側溝の周辺に溜まった土砂や雑草を重機やスコップで取り除いたり、片隅に捨てられた空き缶・ペットボトルや金属クズを回収したりと、午前中の2時間ほど参加者一同で清々しい汗を流しました。

また、各港湾荷役企業で所有する重機(パイローダー、ホイールローダー、ボブ・キャット等)を持ち込んで頂いたおかげで、効率よく清掃作業を進めることができました。改めまして、重機をご提供頂いた港湾荷役企業〔(株)曙組、(株)上組八代支店、日本通運(株)八代支店、松木運輸(株)様、及びご参加頂いた皆様に感謝申し上げます。

今回、美化活動にご参加頂いた企業・団体一覧(順不同・敬称略)

(株)曙組、(株)上組 八代支店、(株)ジェネック 八代営業所、太平洋セメント(株)八代サービスステーション、日本通運(株)八代支店、松木運輸(株)、八代港運(株)、日中交流サービスセンター(株)九州営業所、(有)西海産業、承天商事(株)、八代市国際港湾振興課





## 2017 みなと八代フェスティバル開催 予定

いよいよ30回の記念回となる「みなと八代フェスティバル」を開催します。

体験航海やステージイベント、物産展など毎年大人気の催しに加え、さらに充実のアトラクションを関係者一同で鋭意企画中です。皆さまお誘い合せの上、ぜひ会場へ遊びにいらしてください。

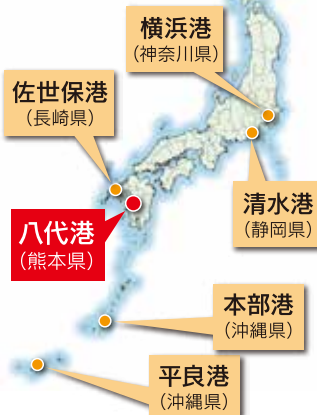
※開催時期・イベント内容の詳細については、市報折込チラシ、市ホームページ等で随時お知らせ致します。



## 八代港が「官民連携による国際クルーズ拠点」に選定されました

平成28(2016)年秋、国内へのクルーズ船の寄港増を目指す国土交通省は、海外船社を対象に、全国各地の港の開発案を公募。国の働きかけに応じた、大型クルーズ船の運航で世界シェア第2位のロイヤル・カリビアン・クルーズ社(RCCL、米国)と熊本県は連名で「官民連携による国際クルーズ拠点形成計画書」を提出すると、平成29(2017)年1月下旬に審議され、八代港はその全国6港湾のうちの一つに選定されました。

<参考>  
全国の選定港湾  
(6港湾)



現在の八代港の岸壁は、貨物船とクルーズ船で共同利用しています。しかし本来は工業港であるため、クルーズ船は“貨物船が利用しない時のみ”と岸壁の利用が制限されてきました。今後、現在使用している岸壁の南側に、クルーズ船専用岸壁が410メートル追加整備され、物流と人流それぞれの機能を発展させながら共存できる形となります。また、この追加410メートル中240メートルは耐震強化岸壁となり、災害時の救援物資等の補給拠点など、防災機能の更なる向上も期待されます。

耐震強化岸壁、大型バス駐車場等、商業施設やC/IQ機能を持つ旅客ターミナルといった整備が進められ、魅力的なクルーズ拠点形成に向けた取組みが始まると同時に、八代港の国際競争力も高まり、県内外、国内外に向けて八代の魅力発信ができるようになるでしょう。

八代港に計画中的  
クルーズ船専用岸壁



## 八代港国際コンテナ利用拡大助成事業のご案内

利便性のよい八代港をまずは使い、その効果を実感して頂きたいと、八代市では八代港国内・国際コンテナ定期航路を利用して輸出入される荷主企業に対して助成を行っています。申請手続きも簡単ですので是非ご活用ください。



40フィートコンテナ(2TEU)1本当たりで換算すると

新規  
利用企業

八代市より 20,000円 + 熊本県より 20,000円  
助成総額 **40,000円**

継続  
利用企業

八代市より 20,000円 + 熊本県より 10,000円  
助成総額 **30,000円**

○一企業あたりの助成上限なし 他、冷凍・冷蔵貨物に対応するリーファーコンテナ向けの助成金制度もあります。(平成29年2月現在)

詳細は下記までお問い合わせ下さい。(※順不同)

- (株)曙組 ..... TEL0965-37-1355
- (株)上組八代支店 ..... TEL0965-37-3565
- 九州紙運輸(株)八代営業所 ..... TEL0965-37-2888
- (株)ジェネック八代営業所 ..... TEL0965-37-3541

- 日本通運(株)八代支店 ..... TEL0965-37-0011
- パシフィックグリーンセンター(株)八代支店 TEL0965-37-3241
- 松木運輸(株) ..... TEL0965-37-1101
- 八代港運(株) ..... TEL0965-37-3111

# データで知る Statistics of Yatsushiro Port 「八代港」

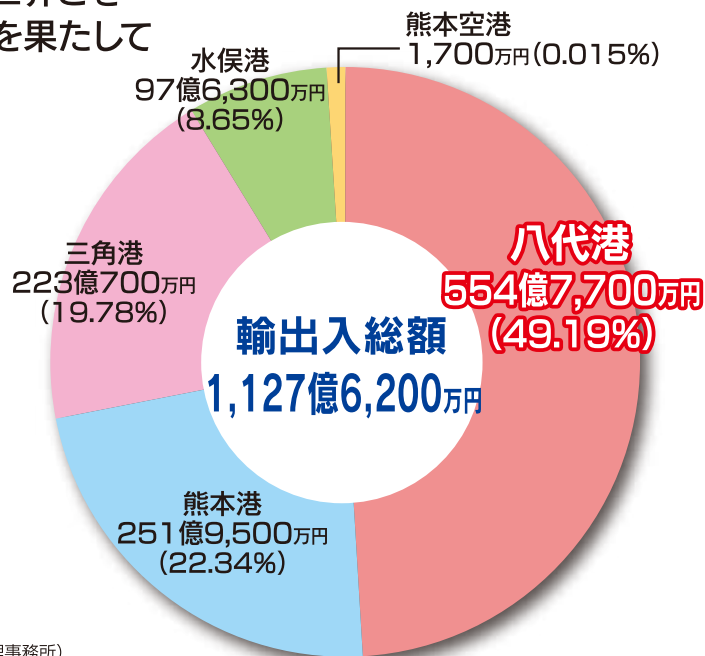


八代港は熊本県内はもとより、広く南九州一帯と世界とをつなぐ国際物流のゲートウェイとして重要な役割を果たしています。

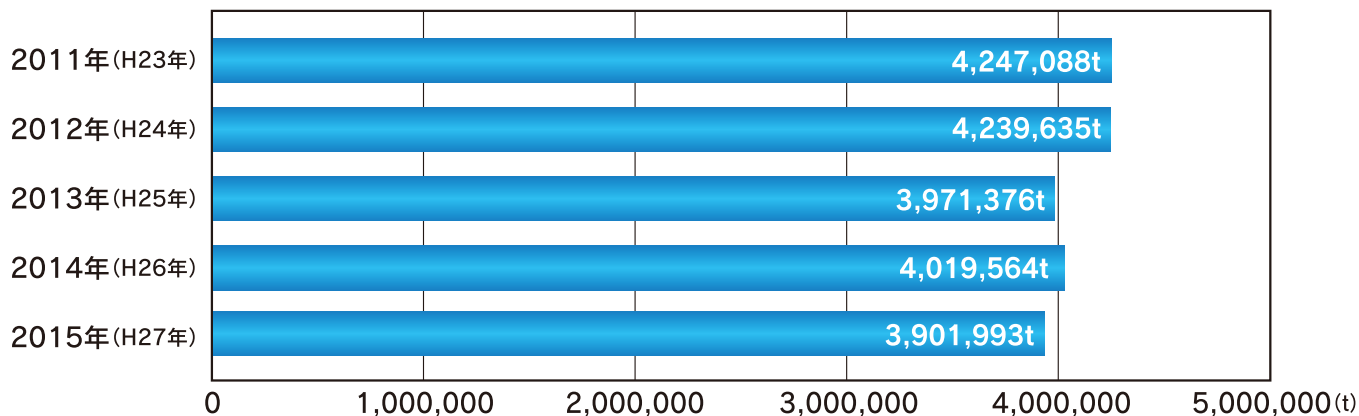
## 県内貿易に占める港の割合(平成28年)

(資料:八代税関支署 管内貿易概況)

港	輸 出 額	輸 入 額
八 代 港	143億500万円	411億7,200万円
三 角 港	12億600万円	211億100万円
水 俣 港	4億4,100万円	93億2,200万円
熊 本 港	144億1,800万円	107億7,700万円
熊本空港	—	1,700万円
合 計	303億7,100万円	823億9,100万円









## 港湾取扱貨物量の推移(過去5年) (資料:熊本県八代港管理事務所)



## 輸出入品目ベスト3(平成28年)

区分	輸 出	輸 入
1位	<b>金属鉱及びくず</b> 55億1,600万円 (38.6%)	<b>とうもろこし</b> 76億3,200万円 (18.5%)
2位	<b>一般機械</b> 34億6,500万円 (24.2%)	<b>ウッドチップ</b> 63億8,100万円 (15.5%)
3位	<b>木材及びコルク</b> 11億2,600万円 (7.9%)	<b>植物性油かす</b> 41億6,900万円 (10.1%)

## 輸出入相手地域(国)ベスト3(平成28年)

区分	輸 出	輸 入
1位	 <b>中華人民共和国</b> 74億6,800万円 (24.6%)	 <b>オーストラリア</b> 199億6,200万円 (24.2%)
2位	 <b>大韓民国</b> 54億5,200万円(18.0%)	 <b>中華人民共和国</b> 137億1,400万円(16.6%)
3位	 <b>アメリカ合衆国</b> 47億1,800万円(15.5%)	 <b>アメリカ合衆国</b> 65億3,800万円(7.9%)

(資料:八代税関支署)



八代港は熊本県最大の港湾施設を有し、県内港湾貨物の半数以上を取り扱っています。

当協会は、南九州における重要な物流拠点に成長した八代港のさらなる発展を目指し、八代港の利用促進や、美しく賑わいのある港づくりなどに関する事業を行っています。



## 正会員 (67社・団体) ※順不同

(株)曙組 (株)アライカーボン 井上鋼材(株) (株)イワモト (有)大島石灰 (株)小笹建設 (株)上組八代支店 (株)亀万運送 九州紙運輸(株)八代営業所 熊本交通運輸(株)八代支店 熊本ドック(株) 熊本木材(株)八代支店 NPO法人熊本県海難救助隊 興人フィルム&ケミカルズ(株)八代工場 (株)ガイエンス熊本製造所 旭化成アドバンス(株)八代ケミカルセンター シー・アール・ディ開発(株) ジェイエイ北九州くみあい飼料(株)熊本工場 (株)ジェネック八代営業所 (株)島児屋 ジャパンオイルネットワーク(株)八代油槽所 シントワールド(株) 太平洋セメント(株)八代SS	太陽開発(株) 高原木材(有) 洞海マリンシステムズ(株)長崎支店 東西オイルターミナル(株)八代油槽所 (株)中川パッケージ八代事業所 (株)中山建設 西田精麦(株) 日本紙運輸倉庫(株)九州支店八代営業所 日本製紙(株)八代工場 日本製紙木材(株)西日本支店八代営業所 日本通運(株)八代支店 (有)仁徳海運八代石油基地営業所 (株)ノーグチ パシフィックグリーンセンター(株)八代支店 (株)バンテック 畑野建材工業(有) (株)福岡建設 (株)福岡タルク工業所八代工場 (株)藤永組 松木運輸(株) (株)南 京都総業(株)八代営業所 メルシャン(株)八代工場	森山産業(株) 八代協同ガス配送センター(株) 八代漁業協同組合 八代経済開発同友会 八代港運(株) 八代港湾工業(株) 八代市金融協会 八代地域農業協同組合 八代商工会議所 八代飼料(株) (一社)八代青年会議所 八代市造園防災協議会 (株)八代美研 (一社)DMOやつしろ 八代ヨットクラブ ヤマハ熊本プロダクツ(株) 横場工業(株) 吉住酸素工業(株) (株)吉田製作所 YKK AP(株)九州製造所 和久田建設(株)
---	--	--

## 特別会員 (21団体) ※順不同

福岡入国管理局熊本出張所 長崎税関八代税関支署 福岡検疫所 水俣・八代出張所 門司植物防疫所鹿児島支所八代出張所 九州農政局生産部業務管理課 国土交通省九州地方整備局熊本港湾・空港整備事務所 国土交通省九州運輸局熊本運輸支局	八代海上保安署 熊本県八代警察署 熊本県商工観光労働部観光経済交流局国際課 熊本県商工観光労働部新産業振興局企業立地課 熊本県土木部河川港湾局港湾課 熊本県県南広域本部 熊本県八代港管理事務所	日本貿易振興機構熊本貿易情報センター (一社)熊本県貿易協会 八代港運協会 人吉市 上天草市 宇土市 八代市
--	--	--

(平成29年2月現在)

## 会員募集

「八代港港湾振興協会」では新規会員を募集しています！  
当協会の趣旨にご賛同いただける企業・団体等の皆様のご入会をお待ちしておりますので詳しくは事務局までお問合せください。

お問  
合せ

八代港港湾振興協会  
(八代市国際港湾振興課内)  
TEL/FAX 0965-43-7855

## 活動趣旨・内容

- ①八代港の利用促進  
ポートセールス活動、八代港に関する要望・陳情活動など
- ②美しく賑わいのある港づくり  
みなと八代フェスティバル協賛など
- ③八代港の広報・宣伝活動  
広報誌「みなと新聞」の発行など
- ④その他  
各種セミナーの開催、記念事業の実施など